

もう一度考えて見よう — ケーブルラックの使い方

(ケーブルラックの選び方)

- ◎ 特注品はどうしても割高になり、納期も長くなります。ネグロスの種類の豊富なケーブルラックの中から、まず適当なものを見つけて下さい。
- ◎ ラックの種類と支点間隔でそれぞれ違いますが、ラック巾が広くなると、子桁の強度で許容静荷重が制限されます。子桁の本数を増したり、強い子桁を取付けたりする特注もできますが、巾のせまいラックを2段または2列に使用方法もあります。
- ◎ トラフ型(チャンネル型)のラックを作る替りに、SRタイプなど梯子型のラックにプラスチック板やネットを敷いて、細かいケーブルのたわみを防いだり、下からケーブルが見えないようにできます。蓋の特注もできます。
- ◎ 2本の吊ボルトの間にラックをのせるブランコ吊の替りに、ダクターや山形鋼にブラケットBKを取付けて吊下げれば、わきから通線が楽にできます。ブラケットを両側に対称につければバランスが良くなります。
- ◎ 分岐ラックを使用する替りに、分岐金具SRZなどをお試し下さい。ケーブルが親桁をのり越えるのが見苦しいという方は別ですが、価格的にも、強度的にも、施工性の良さでもおすすめできると思います。
- ◎ 雑誌「電設工業*52.6」はケーブルラックの特集号です。ネグロスはその中で「ケーブルラックの種類と構造設計の諸問題」という記事を担当しました。是非御一読願います。
- ◎ 5月中旬に新版の「**ケーブルラックカタログ**」ができますので御請求願います。
(K. S u)